

提
案

大宮新幹線保線技術センター及び宇都宮新幹線保線技術センター における宿直体制の見直しについて

1月24日 新幹線統括本部より提案を受ける!

大宮新幹線保線技術センター及び宇都宮新幹線保線技術センターにおける宿直体制を見直す。

- ◆ 実施事項
 - ・大宮新幹線保線技術センター及び宇都宮新幹線保線技術センターにおける通年の宿直体制を見直す。
 - ・多客期等の宿直体制は継続する。
- ◆ 実施時期【2025年4月1日】
- ◆ スケジュール【下図参照】

スケジュール

	2024年度			2025年度
	1月	2月	3月	4月
内 容	▽提案	準備等		▽実施

提案内容に関する主なやり取り（要旨）

(組合)宿直を廃止できる根拠は何か？

(会社)目的は生産性の向上であり、宿直を廃止することで柔軟に業務を執行できる。設備強化を実施してきており、宿直の対応は2000年～2009年が47件、2013年～2023年は8件の実績となっている。

(組合)宿直を廃止し、即応体制に問題はないのか？

(会社)新幹線線路設備モニタリング車が導入予定であり、宿直を廃止しても活用できるツールや体制が増えている。

(組合)繁忙期等の宿直の勤務は変更あるのか？

(会社)これまでの宿直と変更する考えはなく、1人宿直の体制で異常時は基本的に呼び出しの考えである。

(組合)宿直廃止に伴う要員削減はしないということでしょうか？

(会社)宿直廃止に伴う要員削減は実施しない。



異常時以外にも差し替えダイヤなど様々な対応を宿直が担っていた。
宿直廃止に伴う職場体制について検討していこう!